

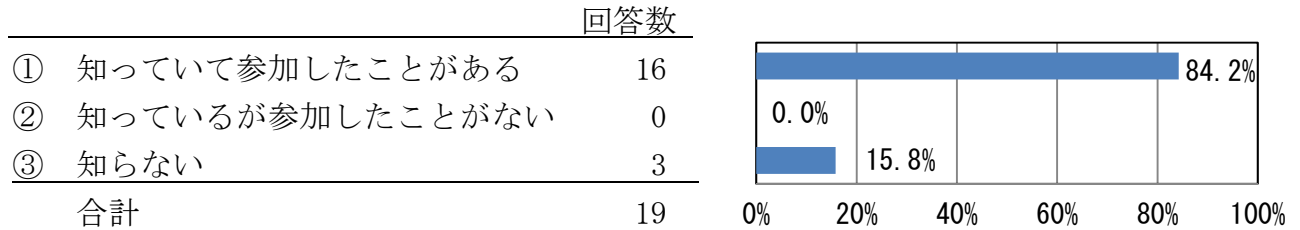
「地区との協働のあり方」に係るアンケート結果

大船渡市市政モニターの定期報告を活用し、「地区との協働のあり方に」について、アンケート調査を実施した。回答結果は次のとおりである。

・期間：令和元年6月11日～6月28日 ・回答率：63%（市政モニター19人/30人）

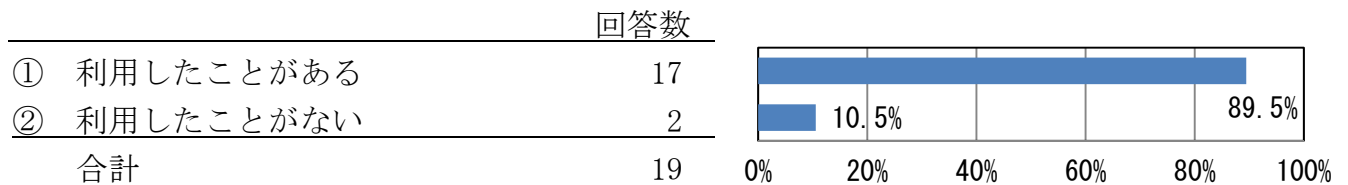
1 地区公民館の活動等について

問1 あなたの地区の地区公民館の事業や活動について知っていますか。また、知っているで参加した方はどんなときに参加したか具体的に教えてください。



文化祭（参加・見学）、地区運動会、スポーツ大会（野球・卓球・バレーボール・ソフトボール・グラウンドゴルフ等）、地域助け合い協議会会議、敬老会、元気アップ教室、高齢者の食事作り、市政懇談会、公民館役員会議、七夕活動、婦人部の会合、家庭教育学級、五年祭、災害時避難所運営・炊出し等

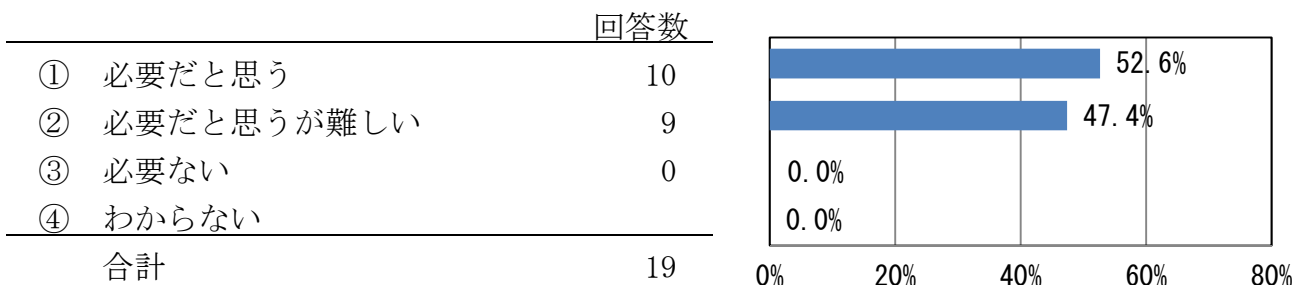
問2 地区公民館にある会議室や体育館などの施設を利用したことがありますか。また、利用したことがある方は、どんなときに利用しましたか。



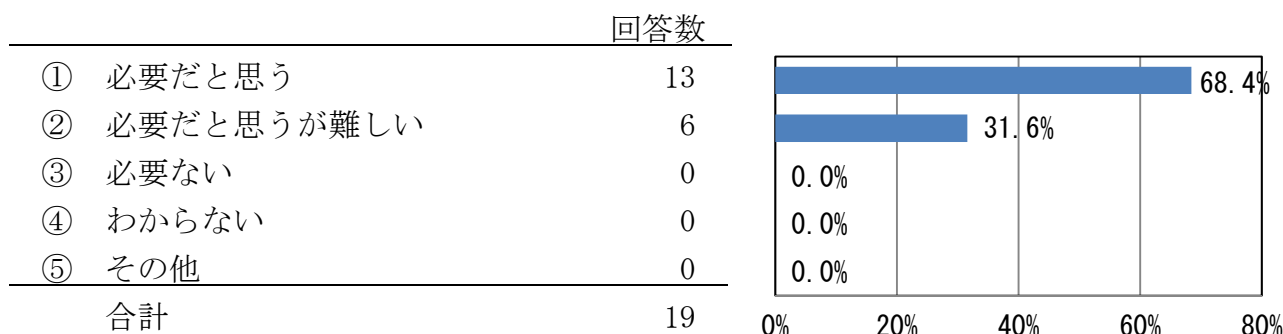
各種講演会、食生活改善推進員会議、芸能大会、老人クラブ役員会議、婦人会会議、先生の離任式、子供会の行事（お楽しみ会、勉強会など）、料理講習会、ニュースポーツ、軽体操、趣味の教室、趣味の会（踊りなど）、地区役員会議、新年各種団体長会議、郷土芸能の練習、七夕作り（山車）、七夕の笠越し、劇団合宿等

2 今後の地区のあり方と協働について

問3 市ではこれまでも復興や地域助け合い協議会など、市民の皆さんと「協働」し、まちづくりを進めてきました。少子高齢化や人口減少が進行し、これからはますます地区住民の皆さんと市が役割分担をしながら、ともにまちづくりのパートナーとして「協力・行動」することが重要になってきています。この「協働」の考え方について、どう思いますか。



問4 国内では、学校区や地区公民館の単位で、地区の魅力発信や活性化のほか、助け合いや交通手段の確保、空き施設の活用などの生活課題の解決に向けて、地区の住民が主体となり、生涯暮らし続けられる地区をつくる動きが広がりつつあります。当市でこうした活動を行うことについてどう思いますか。また、そう考える理由を教えてください。



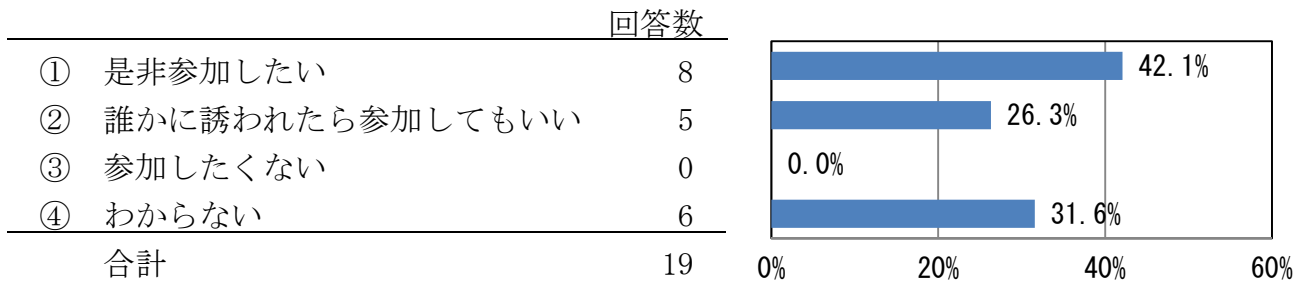
①「必要だと思う」と回答した方の理由

- ・ 少子高齢化の現在、皆で話し合い、助け合いながら、地域の衰退を少しでも止めるように、次の世代の方が住みやすい地域を作る必要がある。
- ・ 高齢者が多くなってきて、一人暮らしとか車のない方など、不便をしている方などがたくさんいるので。ただ、若い方は仕事をしているので、やって下さる方が少ないのでは。
- ・ 地区や地域の問題、その対策等が周知されれば安心して暮らせる。
- ・ 交通手段、移動手段（病院、買い物）など、今までできていたことができなくなる等の課題が現実には起きている。地区の皆さんが心豊かに、生涯住み慣れたところでいきいきと生活するために、みんなで考えていくことが大事だ。
- ・ 広く住民から意見を聴いたり、生活課題の解決に向けてお互い話し合ったりして、地域づくりをすることで、「自分達のまちづくり」の意識が高まる。
- ・ 大船渡離れの若者が後を絶たない中、地域が安心して住め、楽しい魅力のあるまちづくりを目指さなくてはならない。
- ・ このままでは、町が衰退していく。
- ・ 少子高齢化に伴う過疎化都市になるのか、魅力ある都市づくりで住民が増加してゆくのかは、世代間交流や後継者育成、次世代地元観育成によって転換が可能だと思う。思い切った発想と住民への浸透が必要。大船渡とはどんな都市なのか特化すべき。

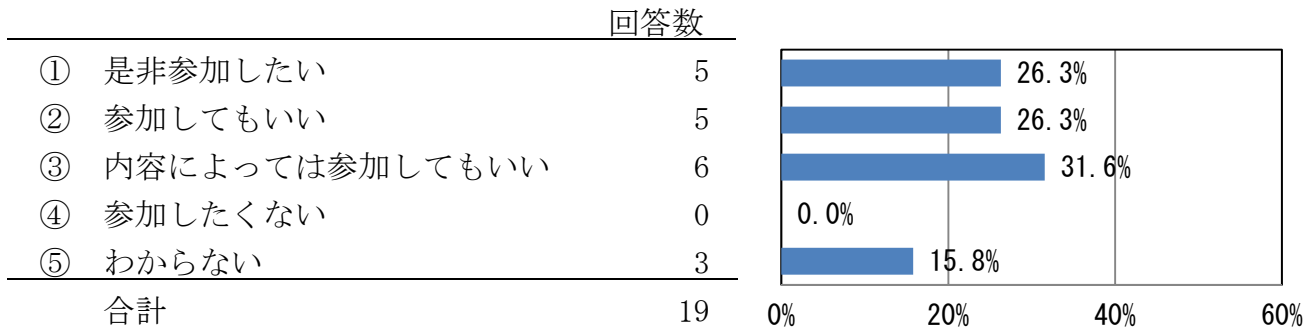
②「必要だと思うが難しい」と回答した方の理由

- ・ 地区の魅力を発信と言っても、それを担当する人の熱意により、広がり方も違うし、面倒と感じる人もいると思う。
- ・ 人それぞれの要望が多く、中には意見が相反することも考えられるため。
- ・ 地域の有志で行動を始めても、協力して共に活動しようとする人が少ない。反対に「できるものならやってみなさい」と住民を巻き込んで非協力的な人もいる。
- ・ 魅力発信などは、特に地域差が大きくなってしまっているので、発信が上手くない地域には、サポートしてくれる人や団体が必要だと思う。

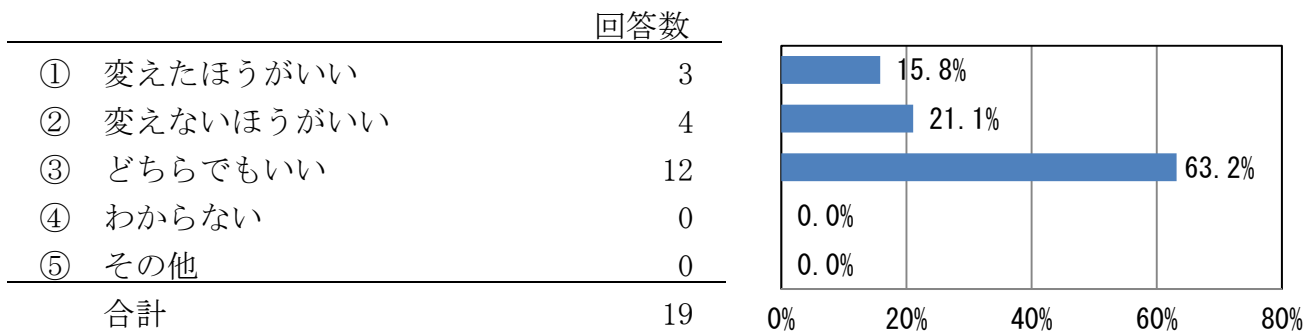
問5 「問4の住民主体の活動を行う場合、はじめに地区の住民の皆さんで話し合いやワークショップなどを行い、地区の現状や課題、将来像などについて共有します。地区に住む誰でも参加できますが、こうした場を設けたとき、参加したいと思いませんか。



問6 問4の住民主体の活動は、地区の役員だけではなく、地区内の関心のある住民の方が自由に活動できる仕組みになっています。こうした活動に参加したいと思いますか。



問7 「地区公民館」の施設名称を、地区の皆さんの地域づくりの活動拠点としてわかりやすくなるよう、「コミュニティセンター」や「地区センター」という名称に変えている自治体があります。この名前を変えることについて、あなたはどのように思いますか。また、そう考える理由を教えてください。



①「変えたほうがいい」と回答した方の理由

- ・統一した名称があるとわかりやすい。
- ・一律「地区公民館」と呼ぶより、愛称の方が身近に感じることができる。
- ・今までの関係者主体の公民館から、誰でも気軽に集まれる、足を運べる、利用できる優しいネーミングが必要。

②「変えないほうがいい」と回答した方の理由

- ・記憶に迷うので変えない方が良い。
- ・公民館という名称に馴染みがあり、親しみがある。地区公民館で周知されている。
- ・変える意味が分からない。活動内容からして、名称を変えることの有益性は全くない。むしろ地元志向の阻害事由になっているとしか思えない。

③「どちらでもいい」と回答した方の理由

- ・名称ではなく、要は活動の中身ではないか。
- ・大切なのは活動内容や活動する人達で、名前はよっぽど変なものでなければ何でも良い。
- ・馴染みのある地区公民館でも良いような気がするが、地域の皆さんが新しい気持ちで名称を変えた方が良いという声が多ければ、変えても良いと思う。